
編集後記

3月11日に日本列島を未曾有の大震災が襲いました。帰るべき家を、街を、家族を失った被災地の方々に心よりお見舞い申し上げます。その後の混乱で用紙が品不足となり、前号のPSA-10 プロシーディング特集号の印刷・発行スケジュールにも遅れが出ました。こうしたアクシデントからも、東日本の太平洋岸を襲った震災が日本全体の経済活動に甚大で広範囲な影響を及ぼしている状況が垣間見えます。

そして、今回の震災では、レベル7の深刻な原発事故が起きました。同じレベルの事故が1986年に旧ソ連のチェルノブイリ原発で起きたときには遠

い国の異様な出来事と受け止めた記憶がありますが、まさか新世紀を迎えた日本で再び遭遇するとは夢にも思っていませんでした。現代の科学技術の粋を結集したはずの原発の安全神話さえも津波が押し流した現実、科学や技術に少なからず関わってきた私たちにとって相当ショッキングな出来事です。巻頭言にもある通り、原発に支えられてきたエネルギー消費型社会を脱して、もっと持続可能性の高い社会に移行する転換期を迎えているのかもしれない。

私の故郷でもある東北地方に再び平穏が戻る日を、切に願ってやみません。
(阿部)

JSA Journal of Surface Analysis

JSA 編集委員会 jsa@sasj.jp Tel: 045-963-3139 Fax: 045-963-4728

編集委員長：阿部芳巳（三菱化学科学技術研究センター）

副編集委員長：吉川英樹（物質・材料研究機構）

編集理事：佐藤美知子（富士通クオリティ・ラボ）

編集委員：井上雅彦（摂南大学）、岩井秀夫（物質・材料研究機構）、大友晋哉（古河電気工業）、木村昌弘（JX 日鉱日石金属）、境悠治（物質・材料研究機構）、鈴木昇（宇都宮大学）、眞田則明（アルバック・ファイ）、鈴木峰晴（パーク・システムズ・ジャパン）、高橋和裕（島津製作所）、田沼繁夫（物質・材料研究機構）、中村誠（富士通研究所）、永富隆清（大阪大学）、水谷五郎（北陸先端科学技術大学院大学）

SASJ: International Advisory Board

J. T. Grant (University of Dayton, USA)

H. J. Kang (Chungbuk National University, Korea)

S. Hofmann (Max-Planck-Institute for Metals Research, Germany)

A. Jablonski (Institute of Physical Chemistry, Poland)

C. J. Powell (National Institute of Standards and Technology, USA)

M. P. Seah (National Physical Laboratory, UK)

Y. C. Ling (National Tsing Hua University, Taiwan)

Journal of Surface Analysis Vol. 18, No.1

編集・発行：一般社団法人表面分析研究会

<http://www.sasj.jp/>

2011年6月9日 印刷

2011年6月14日 発行

発行所：〒108-0074 東京都港区高輪 3-6-7

一般社団法人表面分析研究会

電話：03-3473-6878 FAX：03-3473-6862

Printed: June 9, 2011

Published: June 14, 2011

Published by

The Surface Analysis Society of Japan

Takanawa 3-6-7, Minato-ku, Tokyo 108-0074

Tel: +81-3-3473-6878 Fax: +81-3-3473-6862